

「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」を活用した指導事例（1）

1 題材名 「読み札の意味を感じ取ろう」

2 ねらい

■「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」活用におけるねらい

- ①日本語特有のリズムに親しませ、豊かな言葉・感性を育む。
- ②郷土への愛着を感じ、ふるさと意識を醸成する。
- ③あいさつやお手伝いなどの基本的な生活習慣の基礎を培う。
- ④家族、友達、動植物を慈しむ心を育てる。
- ⑤ルールやマナーを守る心を育てる。

■本時の主たるねらい

読み札の文面を言葉に出して読んだり、文面に出てくる言葉の意味を考えたりすることで、日本語特有のリズムに親しませ、郷土への愛着、基本的な生活習慣などを育む。

3 対象幼児 5歳児

4 展開

幼 児 の 活 動	教 師 の 援 助
<ul style="list-style-type: none"> ・集まる。 ・絵札を見て絵が表している内容を考える。 ・絵札に示されている一文字を見る。 ・読み札の文面を言葉に出して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する読み札と絵札をあらかじめ拡大コピーしておく。 ・拡大した絵札を一枚提示し、絵が表している内容について、意見が出し合えるように促す。 ・幼児から出た意見をまとめながら、絵札が表しているおおよその内容が感じ取れるようにしていく。 ・絵札に示されている一文字に注目させる。この文字を頭とする文をこれから読み上げることを知らせ、絵札に示されている文字の意味が感じ取れるようにする。 ・絵札の隣りに読み札を掲示する。教師が読み札を読む言葉に続いて、皆で読み札の言葉を言うよう促す。 <p>(例)</p> <p>T 「本当に」 C全員「本当に」 T 「カップがあるかな手賀沼に」 C全員「カップがあるかな手賀沼に」(T：教師 C：幼児)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・読み札の文面に出てくる言葉の意味を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み札の文面の中で、ポイントとなる言葉を取り上げ、その言葉の情景、気持ち、意味などについて、幼児から意見が出し合えるように促す。 <p>(例)</p> <p>T 「カッパって知ってる？」</p> <p>T 「カッパの体の色はどんな色かな？」</p> <p>T 「カッパの好きな食べ物は？」</p> <p>T 「カッパの得意なことは？」 等々</p> <p>(可能であればカッパが出てくる童話「カッパの雨乞い」等を読み聞かせ、カッパに対するイメージが膨らむようにする)</p> <p>(例)</p> <p>T 「手賀沼って聞いたことある？」</p> <p>T 「沼ってどんなところかな？」</p> <p>T 「手賀沼っていう名前の沼にカッパが住んでいるかもしれないんだって。」</p> <p>T 「人間に見つからないようにそっと暮らしているのかな？」 等々</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・読み札の文面全体の意味を感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み札の文面全体の意味を考えていけるように投げかける。 <p>(例)</p> <p>T 「『本当に』って言っているけど、手賀沼にカッパはいるのかな？」 等</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・読み札の文面を言葉に出して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後にもう一度、教師の読む言葉に続いて、みんなで読み札の文面を言葉に出して言うよう促す。 ・使用した拡大版の絵札と読み札は、数日間は、幼児の目に付く場所に掲示しておく。

- ※ 読み札の内容によっては、1枚の札にかかる時間や内容に差が生じる場合もある。
- ※ 一度に扱う読み札の枚数は、幼児の集中できる時間を考慮し、短時間でできる枚数とする。
- ※ 日を替えて、少しずついろいろな読み札にも触れていくようにする。